

## 第5回審議会における意見の反映状況について

該当ページ	意見	回答
P.47 P.67	リーディングプロジェクト1に記載されているフューチャーセッションと、Ⅱ-2-(1)-①「地域・企業・行政による課題解決プロジェクトの推進」に記載されている課題解決プロジェクトについて、言葉の統一をお願いしたい。	言葉の表現については、フューチャーセッションを経て検討された課題解決プロジェクトであることがわかるよう、説明文を変更しました。
P.52	リーディングプロジェクト2の施策3「相談できる身近な居場所が充実します」について、ひきこもりやヤングケアラー、自殺等の問題に陥る前に、早めにSOSを出すことの重要性を徹底して広報していくべきであるため、内容を検討していただきたい。	ご指摘のとおり、文章を修正しました。
P.63 P.66	基本目標Ⅱの指標として課題解決プロジェクトの参加人数と課題解決プロジェクトの実施件数があるが、次回までにもう少しわかりやすい表現があれば検討していただきたい。	どのようなプロセスを経て生まれた課題解決プロジェクトかがわかるように、表現を修正しました。
P.70	Ⅲ-1-(1)-①「福祉課題の理解の促進」について、外国人の方の支援が、文化振興課だけでは少し弱い。相談支援などにも入れていいと思うがどうか。	外国人への多言語対応や相談支援においては各課で取り組んでいるところですが、さらなる相談支援については、今後の研究課題とさせていただきます。
P.75	Ⅲ-1-(3)-①「身近な場所での相談体制の充実」に医療と介護の連携について記載されているが、障がい児者を抱える母親から、障がいと医療の連携についての困りごとを聞いている。この記載内容だと高齢の方に限るように読めてしまうため、横断的な連携ができる書きぶりにしたほうが良いのではないか。	障がいと医療の連携に関する取り組みについては、P.77に障がい福祉課の取組として記載しています。 また、8050問題をはじめとする、高齢・障がい・医療等の複数分野を跨ぐ問題については、本プランのリーディングプロジェクト2に掲げているとおり、多分野の関係者を参集する（仮称）多機関協働会議を開催し、支援プランの検討やモニタリング等を行う予定です。
P.80	Ⅲ-2-(1)-①「ひきこもりに対する支援」とあるが、ひきこもりという言葉が本来は状態像であるため、「ひきこもり状態にある人への支援」ではないか。	ご指摘のとおり、保健所と調整のうえ計画体系を修正しました。

該当ページ	意見	回答
P.85	<p>Ⅲ-2-(5)-①「DV防止の推進」について、内容が少ないと思われる。女性の悩みごと相談だけでなく、性暴力などは比較的男性も最近は増えているとも言われていたり、空き家の取組についても町田市はシェルターが少ないと思われるので、内容を検討していただきたい。</p>	<p>市民協働推進課（男女平等推進センター）と調整のうえ、文章表現を修正しました。</p> <p>また、DV被害者を受け入れるシェルターについては、秘匿性が高い内容であるため、本プランには取組内容を記載しないこととしています。</p>
P.96	<p>Ⅲ-3「支援の質を確保する」について、業務の効率化とICTの活用がこれから重要になってくると思うが、この内容の記載を検討いただきたい。</p>	<p>Ⅲ-3-(3)-①「庁内における包括的支援体制の充実」の取組内容に、相談窓口におけるICTを活用した仕組みの導入についての内容を追記しました。</p>